

後継者対策部主催

クリスマスパーティー

とき 12月8日(日)午後から
(予定)

ところ 支部事務所

楽しい企画を用意しています。ご家族そろってご参加ください!!

けんせつ
清瀬久留米発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
URL <http://www.tokyodoken.info/>
発行者 片見 學
編集者 山内 高広松竹分会がトップ
全都で健診受診率(2012)

昨年の健康診断の受診率で松竹分会が全都でトップになった。しかも受診率が7割を超えたのは松竹分会だけだという。正直、驚いた。というのも健康診断に対し分会として、特に力を入れていないからだ。ただ、住宅デー、署名、ハガキ要請などで結果として他分会より良い数字になっているときが多いのが松竹だ。

60人を切る小さな分会だが、花の松竹と言われた時があり、その伝統?が今も生き続けていると思う。ベテランから若手へとうまく連なり合い、その結果が全都でトップになったのだと思う。

松竹分会 阿部 史夫



食べきれないほど釣ったマス釣り



すぐに打ちとける顔

拡大後半戦も分会で協力して乗り
清里分会では9月22日(日)、健康教室&拡大中
間決起に集まろう!!と14名が参加、清瀬診療所の看護師高江洲さんによる分かり易く、詳しい説明で真剣に勉強しました。
拡大中間決起では、特上牛肉の焼肉、旬のサシマの塩焼きをたっぷりの大根おろしと一緒に、ビールでカンパイ!
組合の仲間が集まり、ワイワイ、ガヤガヤ、初めて一人で参加してもすぐにうちとけて仲間になれる。そんな東京土建に一人でも多く加入

秋の拡大月間

英気を養い いざ後半戦へ!!

9月下旬から10月頭にかけて、各分会が拡大中間決起を行いました。みんなで楽しく、10月の後半戦に向けて英気を養いました。

みんなで協力して

方が初参加してくれました。

元塩分会

切ろう!!
元塩分会 杉村 真理
清里分会

すぐに仲間になれる



中身の濃かった健康教室



41名の結集で目標達成へ

終了後は分会の中間決起を開催し、健康指導のあと懇りもせず大酒をくりました。
松竹分会
小田澤 陽一

拡大達成で
ハワイに行こう
青空分会

おなじみさんからお久しぶりさんまで21人が分会センターに集まり、九月二十六日に秋の拡大中間決起が行われた。持ち寄りの料理が卓上にあふれ、なごやかな会は進み最後で、達成へ向け成功させましょう。

三葉分会 前川 達夫

に盛り上がりました。友の会の仲間みんなで楽しく交流し旺盛な運動を展開して、いつまでも元気で組合活動を頑張っています。

いままで組合運動を会員の想いで綴った記念誌と長寿を願う記念品の手ぬぐい等、参加者の皆さんにはプレゼントとしてお渡ししました。

委員長をはじめご参加いただいた皆さん、そして友の会の仲間のご協力ありがとうございます。書記局の協力で、記念誌、記念品の作成にも感謝します。

次回は20周年記念に向かって清瀬久留米支部の発展を願って、共に頑張りましょう。

南町分会 宇田川 治男

シニア友の会10周年記念

楽しい友の会 素晴らしい仲間

清瀬久留米支部シニア友の会結成10周年を支部会館で開催しました。シニア友の会役員、書記局と一緒に10周年記念にふさわしい内容にしようと同努力してきました。本部委員長、本部シニア友の会会長等のメッセージ紹介、記念学習会

懇親会は、これまで組合活動(組合員数300名から2000名)



会長あいさつ



思い出話で盛り上がる

多摩北ブロック青年部 被災地ボランティア

生きがいをお届けした住宅デー

多摩北ブロック青年部5「宅」にて、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。西東京、村山大和、東村山、総勢23名の仲間が集まり、9月21日(土)～22(日)福島県いわき市内にある「高久第四応急仮設住宅」に、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。多摩北ブロック青年部5「宅」にて、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。西東京、村山大和、東村山、総勢23名の仲間が集まり、9月21日(土)～22(日)福島県いわき市内にある「高久第四応急仮設住宅」に、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。



「焼そば、豚汁、もちつき、飲料、工作教室、包丁研ぎ、喫茶スペース」の準備に余念がない青年部員(写真上)と、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。多摩北ブロック青年部5「宅」にて、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。西東京、村山大和、東村山、総勢23名の仲間が集まり、9月21日(土)～22(日)福島県いわき市内にある「高久第四応急仮設住宅」に、被災者支援の一環として住宅デーを開催しました。

嬉しいことの裏を一言

投稿

2020年の東京五輪が決まり日本中が喜びで沸き返っている。少しは景気が良くなるかもしれないが、小生などは七年後の開催を見ることができるか心配である。もし可能なら二度目になるので嬉しいが、良いことばかりではない。

東京都はオリンピックに向けて金を集めるため、都立小児病院を少なくしそのお金を備蓄しようとしている。それによって、多くの母親が迷惑を被っていることを忘れてはならない。

北浅分会 小野 定康

東久留米東部地域センター祭り

八月末、急な出店要請で始まった今回のお祭り参加は、結果としては、9月22日(日・祭日最終日)の一日のみ、北浅分会から13名十支部木田書記の参加でした。

当初の計画にあった「まな板削り」は会場の状況に配慮し中止。「包丁研ぎ」と「住宅相談」を行いました。会場では組合の宣伝ができたこと、お祭りへの協力、参加、運営にはもう少し検討する必要がある、というのが、反省会での出た意見でした。次に活かさればと思います。

成果は、研ぎ上げた

包丁37本、住宅相談0件！



必ず行う住宅相談(写真上)
時間を空けて集まった分会の仲間(写真下)

北浅分会 佐久間 博

厚生文化部主催

第二回 将棋大会

とき 10月27日(日)
ところ 支部事務所3階

支部の仲間の結集の場として、支部厚生文化部主催の第二回将棋大会を開催します。

分会内で、将棋を指す仲間同士で声を掛け合って、ぜひ参加して下さい。

上位入賞者には素敵な賞品も用意しています。



なくなるまで手をふつてくられていた姿に胸を熱くさせられました。

青年部担当書記

湧水

最近のおやすみの曲は「英雄ポロネーズ」、作曲は言わずと知れたショパン、フレデリック・フランソワ・ショパンである。

ポロネーズとは、

亡国のショパン

ポーランド風とかポーランドで兵士が戦いの前に踊る踊りのことである。そして、この曲はフランスに渡ったショパンが、祖国ポーランドを想って書いた曲である。だが単なる郷愁ではない。阿倍仲麻呂の「天の原ふりさけみれば」とは一線を画す。

十九世紀前半、他国との紛争が起こり、その結果、ポーランドを祖国と

決してあつてはならないことだと思ふ。少なくとも私はどちら側にも立ちたくない。

青空分会 川本 尚之